

# 道の駅「風早の郷風和里」と愛媛大学の連携

道の駅「風早の郷風和里」と愛媛大学社会共創学部が連携し、道の駅活性化・地域活性化に向けた「ふわり活性化プロジェクトin柑橘まつり2018」を実施しました。

## ①地域と道の駅の課題

「風早の郷風和里」がある北条地域は、高齢化が進展した地域。道の駅の正面に長浜海岸があることから、夏期は多くの海水浴客で賑わうが、冬期の集客が課題。



※この地図は国土地理院の地理院地図に加筆したものである。

## ②活性化プロジェクト始動

学生らしい視点を生かし、活性化企画を検討、実践する「ふわり活性化プロジェクト」が始動。若者を含む多くの人たちを呼び込むアイデアの実践により、道の駅活性化から、将来的な地域活性化を達成することを目標に設定。



## ③平成29年度の取り組み

時期	取り組み内容
平成29年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地調査</li> <li>活性化に関するワークショップの実施</li> <li>道の駅に対するプレゼン</li> </ul>
平成29年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>柑橘まつり参加に向けた企画コンペの実施</li> <li>企画の決定</li> </ul>
平成30年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>柑橘まつりへの出店</li> </ul>



## ■道の駅「風早の郷風和里」について

山と海に囲まれた自然豊かな場所にある道の駅。朝採れ新鮮野菜だけでなく、魚介類、手作りの惣菜や漬物など、バラエティに富んだ地元産品を購入することが可能。地元食材を使用したレストランだけでなくアイスクリームや、じゃこてんなどの軽食が食べられるコーナーも設置。

## ■愛媛大学について

愛媛大学（所在地：愛媛県松山市）は、7学部と大学院6研究科からなる四国最大の総合大学。『「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学」を創造することを理念に、地域を牽引し、グローバルな嫌で社会に貢献する教育・研究・社会活動を展開する』をビジョンに掲げ、社会共創学部を起点とした地域実践型教育による人材育成を推進。

平成29年度 取組み内容：柑橘類を使ったみかんスイーツの開発・販売

柑橘まつりに向けた企画コンペ(平成29年12月)

- 学生の活性化のアイデア実践、及び学生と道の駅・地域との関係構築を目的に、翌年2月開催予定の柑橘まつりへの参加を計画
- 柑橘まつりを盛り上げるための企画を検討するためのコンペを行い、実施する企画を選定



柑橘まつりで販売(平成30年2月)

- 道の駅に出品している生産者から購入した柑橘類を使用し、開発した商品を柑橘まつりで販売
- 地域の生産者や道の駅関係者の協力を得ながら、用意したスイーツ200食を3時間で完売



柑橘まつりに向けた準備【商品開発】

- 来訪者に地域を知ってもらうための取り組みとして、特産品である柑橘類を使ったスイーツ(みかん餃子、みかん大福)を開発



④今後の展望

柑橘まつりにおける課題と、実践の経験を踏まえ、更に地域に密着した「ふわり活性化プロジェクト」を推進